

活動アルバム

MORIYA ALBUM



南片江安心安全少年隊発足式で挨拶をさせて頂きました



インドネシアとの経済協定連携について看護師と意見交換



経済統合を目指すアセアン本部を訪問しました



城南区壮年ソフトボール大会では始球式を行いました



ハワイ州議会の議員と共に博多の屋台を体験しました



所管の委員長としてラグビーを応援しています



第2回 西南学院同窓生
市長・議員等懇親交流会



西南学院卒の皆さんとの意見交換会に参加しました



イオン笹丘店前にて街頭演説を行いました



大久保参議や近藤福岡市議と共に議会報告を行いました



西南学院卒の皆さんとの意見交換会に参加しました



委員長として安川電機で挨拶させて頂きました



地域の敬老会ではご挨拶をさせて頂きました



地域の夏祭りでご挨拶をさせて頂きました

PROFILE 福岡県議会議員 もりやまさと

昭和40年 6月21日 / 福岡市生まれ
昭和59年 西南学院高等高校卒業
平成元年 西南学院大学商学部商学科卒業
平成元年 近畿日本ツーリスト(株)入社
平成8年 衆議院議員秘書(国会内)
平成16年 (株)九電ビジネスフロント入社
平成19年 県議会議員初当選
平成23年 県議会議員2期目当選
平成27年 県議会議員3期目当選

〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10
TEL 092-851-3679
FAX 092-851-3670
e-mail : macmac0621_1965@mail.goo.ne.jp

県政報告 守谷正人

MORIYA REPORT 2015.秋 Vol.27

安心安全まちづくり県民の集いふくおか

「安全で安心して暮らせる福岡県づくり」を一層推進するため、地域の防犯団体が集い、ネットワークづくりと県民の地域防犯活動参加の機運醸成を図る事を目的として「安心・安全まちづくり県民の集いふくおか」が10月に開催されました。私も所管の常任委員会の委員長として、本県では刑法犯の認知件数が減少していることや防犯活動に日夜取り組んでおられる皆様に感謝の気持を申し上げ、挨拶を行いました。

青パトの運用開始から10年が経過しましたが、会場には県内の青パト100台が集結し、出発式も併せて行われました。青パト車両は防犯パトロールする上で顯示効果が高く、犯罪を行おうとする者への心理的な犯罪抑止効果があり、地域の一層の安全安心につながっています。

私も先日城南区内で青パトに乗車しましたが、運営されています地域の皆様のご尽力には敬意を表すると共に感謝の気持ちでいっぱいです。

引き続き県民の皆様と一緒に、安全で安心な地域社会の実現に向け力を注いで参ります。

福岡県議会議員 守谷 正人

9月定例県議会

9月定例県議会は9月18日に開会し、22日間の日程で10月9日に閉会しました。先の6月議会で今年度予算が成立した事を受けて、今議会は伊良原ダム開発事業等の特別会計補正予算の提案が1件、中小企業振興条例や個人情報保護条例の一部改正等7件、契約3件、経費負担6件、副知事の選任等2件、その他1件の合計20件の議案の提案があり可決されました。議会最終日には常任委員会委員長として登壇し報告を行いました。

又、会派から「教育現場の実態に即した教職員配置の充実を求める意見書」を提出し、採択する事が出来ました。

ホームページ上で政策や日々の活動をご紹介すると共に、
県民の皆様のご意見ご質問を随時受付しております。

<http://moriya-masato.info/>

facebook 更新中

県政地域の声を
活かす!



◆福岡県中小企業振興条例の制定

委員長を務めます「新社会推進商工委員会」からの提案により「福岡県中小企業振興条例」が可決しました。

中小企業は県内企業数の80%を占め、従業員では99.8%となります。国では昨年「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。中小企業の振興について基本理念を定め、県の債務等を明らかにすると共に中小企業の振興に関する施策の基本となる事項を定める必要がある事から今議会条例を制定しました。

知事からは地域ごとの支援体制を整備、県、市町村や金融機関等の関係機関が地域の力を集結し、中小企業1社1社に対しそれぞれの実態を踏まえ、よりきめ細かく、かつ総合的に支援し事業の継続とその成長発展を図って参るとの答弁がありました。

- 条例の目的
- ・中小企業の振興に関する施策を総合的にかつ計画的に推進
 - ・本県の経済の健全な発展及び県民生活の向上



現場の声を聞かせて頂き条例に反映しました



中小企業が福岡県経済を支えています

◆全国学力テストと学力向上対策について ~教育先進県「秋田県」を視察~

今回の全国学力テストの県全体の平均正答率はすべての教科区分で昨年に続き全校平均点を下回っています。会派では9月上旬に「全国学力テスト」で7年連続トップクラスの秋田県を視察し、市教育委員会等と意見交換を行い、秋田の学力の高さの秘密はどこにあるのか様々な角度から調査を行いました。

<秋田県の特徴>

- ・約7億5千万円の県費を上乗せして30人以下の少人数学級を小学1年から5年、中学1年から3年まで拡大し、学力の底上げを図っている。
- ・子供の学力習慣の習得は学力向上と密接な関係にある。長年生活綴り方教室に取り組むなど家庭から学力向上を図る取組みが進められ、これが家庭学習の基本になっている。
- ・全国学力テストと独自テストは年2回に限定。過度な負担にならない様に計画。市町村別、学校別の成績公表は行わない。それぞれの学校での課題を克服するため、担任、教務主任、学年主任、県教育委員会の指導主事が連携して対応
- ・公立小中学校の教員定数に占める正規職員の割合は秋田県で93.7%、福井県で98%全国平均は93.1%、本県は87.6%と沖縄県に次いでワースト2位。



秋田市教育委員会で意見交換を行いました



男鹿海洋高校を視察 なまはげ太鼓部の歓迎を受けました

春日警察署の創設について知っておこう!

～早良警察署からの分離で新しい警察署を城南区に創設しよう～

■春日警察署の創設について

筑紫野市・太宰府市・春日市・大野城市・那珂川町の4市1町からなる筑紫地区は年々人口の増加に伴い筑紫地区を所管する筑紫野警察署は仕事量も増加。平成21年2月に第一線警察機能強化委員会から筑紫野警察署は分割対象警察署として早良警察署と共に挙げられました。平成26年4月1日に春日警察署は筑紫野警察署から分割、新設されました。

安心安全の拠点となる警察署を早良警察署から分割し、城南区に早期に、新設するために、引き続き力を注いで参る所存です。皆様のご理解宜しくお願い致します。

- ・春日警察署の管轄は2市1町(春日市・大野城市・那珂川町)、人口約26万人、面積約116km²
- ・筑紫野警察署の管轄は2市(筑紫野市・太宰府市)、人口約17万人、面積約117km²
- ・建設用地約4,500m²(県有地約2,000m²、春日市有地約2,500m²)総事業費は約24億円
(建築用地については市有地を無償で借り受け、その代わりに市職員の駐車場の移転費用を県が補償する協定書を締結)
- ・建築面積約8400m²、鉄筋コンクリート造り、地上5階建、駐車スペース(来客用23台、公用52台)
- ・平成22年度当初予算に分割調査費が認められ、平成23年度に設計、平成24、25年度に建設
- ・組織定員は合計314名、課数は14課、7交番1駐在所



城南警察署の創設に力を注いで参ります

■早良警察署管内の治安等の状況(早良区と城南区)

人口(H25.12.31)	面積(H25.10.1)	刑法犯認知件数(H25中)	警察官数(H26.4.1)
337,144人(1)	111.90km ² (19)	4,226件(4)	約350人(5)

※()の数値は、旧筑紫野警察署分割後の県下35警察署中の順位

学生インター生との2か月間

学生の社会活動体験の一環として、学生インター生を9年間事務所に迎え入れています。今期も8月から3名の学生が2か月間行動を共にしました。

学生達のテーマは「子供の貧困とそれによる学力問題」について、それぞれが課題を調査し、最終日に政策を提案しました。県内の「経済的貧困状態」にある子供が18歳以下の5人に1人に当たる約17万5千人上る事が県の試算で明らかになりました。県議会での政策審議会や福祉施設訪問等を体験し、またテレビでも特集で取材も受けました。今回の様々な経験が今後の人生において、何らかの糧になる事を願っています。



3人のインター生とともに



KBCテレビで特集されました

城南区中学生健全育成フォーラム 「中学生サミット」

城南区内の中学生が一堂に会し、家庭や学校、地域の中で、日々思ったり感じたりしていることを率直に話し合う『中学生サミット』が開催され、参加しました。今回のテーマは「男子っぽい女子っぽい～全人類のガチトーク～」でしたが、中学生が自分の意見を述べることにより、コミュニケーション能力を養うとともに、他の中学生の色々な考えを知り、心の理解を深める場となりました。中学生の純粋な意見や様々な要望を直に聴ける貴重な体験となりました。有意義な時間を作りました。



中学生サミットには毎年参加しています



中学生の素直な意見を聞かせて頂きました